

●事業実施状況報告(10月末)

		令和2年	令和3年
会員数(人)	男	1,346	1,329
	女	435	446
	計	1,781	1,775
就業実人員(人)※		1,482	1,467
就業率(%)		83.2	82.6
受注件数(件)	公共 民間	32 2,590	35 2,611
	派遣	64	110
請負契約金額(千円)		421,773	419,095
派遣契約金額(千円)		65,417	74,902

※「就業実人員」数は、請負契約及び派遣契約の就業会員の合算数値になります。

●配分金振込手数料の有料化(お知らせ)

令和4年4月から、配分金の振込手数料が一部有料化(ゆうちょ銀行)となります。振込手数料の額は、年間約600千円を見込んでいます。

費用の増加に伴い、一部事務費の増額を発注者にお願する予定です。皆様の就業におかれましては、更なるご尽力を賜りますようお願いいたします。

●契約(請負・委任)の更新について

請負契約あるいは委任契約の契約期間は、年度毎(4月1日~翌年3月31日まで)です。毎年2月1日には、発注者に契約更新のお願いと契約更新の有無の確認を行っています。

- 会員個々に契約更新のお知らせは行っていません。
- 契約が終了または、就業条件等(配分金や就業時間)に変更があるときは、担当ジョブコーディネーターからの連絡や事務連絡でお知らせします。
- 受注条件等は、受注票で確認してください。

●令和3年は新型コロナウイルス感染拡大に伴う感染防止対策の実施、在宅勤務・テレワークに伴う新生活様式の定着、東京オリンピック・パラリンピック無観客開催と日本選手の活躍、大谷翔平選手のアメリカ大リーグでの活躍、SDGs「持続可能な開発目標」達成への課題等の話題の多い年でした●シルバー人材センターの会員の方々も新型コロナウイルスワクチン予防接種、感染防止

対策の継続実施等、大変なご苦労がある中で就業されたことと思います●令和4年は北京冬季オリンピック・パラリンピックの開催が予定されており、世界的な人の移動に伴う新型コロナウイルス変異株の蔓延の可能性がある為、第3回目ワクチン予防接種、引き続き感染防止対策の実施等をお願いします。このような中でも会員皆様のご活躍と会員数拡大を期待しております。【広報部会 S】

●配分金支払日

12月分	1月25日(火)
1月分	2月25日(金)
2月分	3月25日(金)

※毎月の配分金明細書が必要な方は、事務局窓口へお越しください。

▼ ゆずりはクイズ Part50 ▼

- Q1 日野会長のあいさつで、今年は第4次基本計画の何年目でしょうか?  
 Q2 シルバーサロンの開催日と場所は何でしょうか?  
 Q3 シルバーの顔の富樫さんの趣味で、得意なものは何でしょうか?

●ヒント：2面、3面、5面を見てください。

答をハガキに書いて事務局に送ってください。締め切りは2月10日(木)です。正解者の中から、抽選で素敵な品を差し上げます。ご応募をお待ちしています。(会員番号と氏名を忘れずに書いてください。)

◎ゆずりはクイズ Part49の正解

- Q1の答：6日間  
 Q2の答：「事故」と「怪我」  
 Q3の答：27件

応募数18通、うち正解者数17通でした。

080-1293-8569

センター  
緊急  
連絡先

緊急電話は、センター業務時間外に対応します。連絡は緊急な場合に限り連絡してください。また、対応する職員もすぐに応答できない場合があります。折り返しの連絡となりますので、ご了承ください。



目次

- 2P 会長挨拶、柏市長挨拶
- 3P 地域班地区長会議 / 企業SC交流会 / シルバーサロンのお知らせ
- 4P 柏市生涯現役促進協議会講座 / トピック / ジョブコラム
- 5P シルバーの顔 / 安全だより
- 6P 安全研修 / PC班会議 / 駐輪場接遇研修 / 植木班活動
- 7P SG会 / 福祉・家事援助サービス情報
- 8P 事務局からのお知らせ / 編集後記



とがし しょういち  
 土地区(南増尾班) 富樫 昭七 会員  
 P5をご覧ください!!



柏市シルバー人材センター会長 日野良英



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。また、柏市役所はじめ、ご利用頂いている皆様方には、平素より当シルバー人材センターの事業運営に格別なご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、一昨年からの長期にわたる新型コロナウイルス感染拡大の影響により、会員数や受託件数が減少するなど厳しい状況に見舞われてきました。昨年10月からは新規感染者が減少し、オミクロン株の不安があるものの、経済・社会活動に明るさが見えています。テレワークやデジタル化など働き方の変化に勢いが増しています。

今年は第4次基本計画の2年目を迎えます。引き続き会員の拡大や就業先拡大を大きな柱に、地域ニーズに対応する新規事業、女性会員の拡大、IT化等推進の事業計画達成を目指し取り組みます。目覚ましく変化する社会状況に対応していくため、従前の取り組みに加え、新しい視点と改革意識を持ち、工夫を怠らして業務を遂行していく所存です。

本年も、皆様方のより一層のご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げますと共に、皆様のご健勝ご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます。

7代目柏市長に就任いたしました太田和美です。

昨年10月の市長選挙におきまして、市民の皆様からのご信託を賜り、第7代柏市長として市政運営を担わせていただくこととなりました。

本市を取り巻く状況は日々変化し、先を見通すことが難しい状況にありますが、直面する新型コロナウイルス感染症への対応はもとより、少子高齢化、防災、環境、地域経済の活性化など様々な課題に対し、私のこれまでの政治経験を活かし、より実効性の高い政策を実行していきたいと考えております。

また、誰もが健康で安心して暮らせる社会を目指し、生涯現役社会の推進を図るため、貴センターと連携を深めながら、高齢者の方々の就労を支援し、自己実現と社会参加を後押ししてまいります。

結びになりますが、会員の皆様のご健康とご多幸、柏市シルバー人材センターの益々のご発展を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



柏市長からの挨拶  
柏市長 太田和美

●令和3年度第1回地域班地区長会議開催(11月1日開催)

令和3年度第1回地域班地区長会議は、参加者23名、コロナ禍も終息方向には向かっているものの会場の蜜を避け、コロナ対策を施しながらの会合でした。

会議は、杉岡総務部会長の司会、日野会長の挨拶で始まり、議題は、「コロナ禍における地域班活動について」及び「地域班役員の任期の周知について」の2議題でした。

議題の「コロナ禍における地域班活動について」は、各地区ともコロナ禍での集まりは最低限になってしまい、班員とのコミュニケーションに苦労している状況です。続いて「役員任期の周知について」は、なかなか役員の後任人選に各班とも悩んでおられます。是非、班員の積極的なご協力をお願い致します。

続いて「報告事項」では、①配布事業、②専門部会・委員会の新体制、③定時総会の出席状況、④令和3年度地域班活動状況、⑤事故発生状況について、各役員から

報告がありました。地区長から、「役員のなり手がいない」、「班員と話す機会もなく顔もわからない」、「ほとんどの会員は仕事さえもらえればいいと考えており、会議にも来ない。班会議も必要ないと言っている」等の意見がありました。

終わりに、薬師寺安全委員長から、これから冬に向かうなかで、特に屋外作業の安全対策の再確認をお願いしたいとの話がありました。



●企業・シルバー人材センター交流会参加(11月16日)



アミュゼ柏にて千葉県シルバー人材センター連合会(以下「千シ連」)主催の交流会は、東葛地区のシルバー人材センターと求人のある企業との交流会で、その企業からの求人相談を受けるものです。当センターからは、事務局2名(松田次長、中野ジョブコーディネーター)が参加。

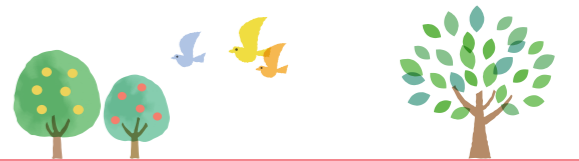
千シ連の吉原常務理事兼事務局長の挨拶、シルバー人材センターの仕組みと現況の説明に始まり、本題である求人企業との「個別交流会」が行なわれ、当センターは、野田市内にある企業の求人相談に対応しました。

相談内容は、清掃作業の求人に対する職場環境、就業時間、請負単価など、多岐に亘って話し合いが行なわれました。求人の方々の苦労話や粘り強く探して成功した事例など、中野ジョブコーディネーターの話には相談に来られた企業の方もうなずいておられました。

シルバーサロン開催

センターと会員、会員相互の情報交換を行い、また、市民にシルバー人材センターをご案内するために開催します。ご参加をお待ちしています。

- 日時 令和4年2月2日(水)13時~16時
- 場所 パレット柏多目的スペースA
- 内容 (1) 展示コーナー  
センター情報の運営・活動状況、入会募集のご案内(市民向け)  
(2) 相談コーナー  
就業相談、会員と役員・事務局との情報交換、入会のご案内(市民向け)  
お茶サービス
- 参加費 無料  
直接会場にお越しください



## ●生涯現役 介護サポートのお仕事講座への参画 (10月7日)

生涯現役介護サポートのお仕事講座がアミュゼ柏で開催されました(主催は柏市生涯現役促進協議会)。当日は、センターの中野、蓑内ジョブコーディネーターが参加しました。

講座は、基調講演、柏市生涯現役促進協議会から「介護サポートの仕事」の情報提供が行なわれ、その後、中野ジョブコーディネーターから、センターの概況、雇用促進の情報提供とPRを行いました。続いて、福祉施設の利用者の接遇、職場における注意点、実際に就業している職員(女性)の体験談など有意義な講座でした。

今回の対象者は、55歳以上で、高齢者施設で働くことに関心がある方々が集まり、定員をオーバーする盛況ぶりでした。

特に参加者33名中、女性が25名と多く、不足する介護人材の確保とセンターの女性会員の拡大に結びつけばと思いました。



「安全第一」よく現場で唱和、掲示しています。この言葉は、アメリカから大正時代に伝わってきました(当初は安全専一)。

生産第一、品質第二、安全第三と言われていた時代から、意識が変わった大きな転換点でした。その後、戦争、高度成長時代のなか、怪我、事故が増え続けた状況から「災害ゼロ」が、昭和の後半から叫ばれはじめました。それでも怪我、事故は、減りませんでした。なぜでしょうか? 「安全第一」「災害ゼロ」とか言っても具体的な行動につながらなかったのです。

以前、このコラムで書いた「人はミスをする」「機械は故障する」という事から 掛け声だけでは怪我、事故

は防げなかったのです。

平成のはじめくらいから、危険予知、リスクアセスメントで「危険を予知し評価し危険源を無くしていこう」と、具体的な行動が示されて、実行され、大きな成果が出ています。

会員の皆さんも、作業に入る前に、「安全第一」という心構えは、大事ですが、一步踏み込み、これから行おうとしている作業にはどういう危険が潜んでいるか考えてみてはいかがでしょうか?

【ジョブコーディネーター 安西 明】

## TOPIC トピック

12月に開催した柏市議会で、シルバー人材センターの支援や役割、インボイスの影響についての質問があり、太田市長から「労働環境や高齢者の就労に関する意識の変化等も踏まえながら、シルバー人材センターが今後も継続して高齢者のニーズに即した就労の場を提供できるよう必要な支援を行います」等の答弁がありました。



## ジョブ コラム JOB column

### ●物作りが大好き

故郷の山形から出てきて、そば屋さんの仕事に従事、その後独立。ラーメン店を開業して48年間、お客様の喜ぶ顔を見ながらご夫婦で頑張られたとのこと。もともと物作りが大好きでラーメンばかりでなく自分で考案した組み立て式の円テーブルまで考案してお客様は大喜びだったそうです。今でもご自宅には数多くの傑作が残っていました。

### ●シルバーでの仕事

現在、ご自宅で襖や障子、網戸の張替の仕事をされています。作業場を拝見すると古くなった襖が新品のように生まれ変わり、折れてしまった襖の枠は丁寧に修復、その仕事の丁寧さがわかります。お客様からの電球の取り替えやちょっとした作業も快く対応、「お客様が喜んで頂けるのが一番です」とのこと。きっと美味しいラーメンを提供したときのお客さんの笑顔と一緒にのかもしれません。

伺った時期は年末で大忙しの時期でしたが、明るい笑顔で迎えて頂きました。最初は先輩の方が丁寧に教えてくれたそうです。現在この仕事に従事している方はシルバーで2人だけ、一緒にこの仕事をされる方を望んでいました。



土地区  
(南増尾班)  
富樫 昭七 会員

### ●趣味とご家庭

趣味は?と伺うと「これです!」と「襖」を指さしました。奥様と二人で台所にも立ち得意の餃子やシューマイづくり、その出来映えはご近所でも評判。居間にある大きなゴムの木は観葉植物が大好きな奥様の担当。窓から差し込む陽の光のように暖かく明るい素敵なお家庭でした。

## 安全だより



ANZEN DAYORI

### ●冬に増加する“転倒”にご注意下さい

冬は服装が厚着で動きにくくなります。その上、寒さで筋肉も思うように動かなくなるため、転倒事故が増えます。転倒が原因で、就業が出来なくなることもあります。転ばないための対策と予防が大切です。

予防策の一つとして通勤前に準備運動をして、身体を温めましょう。また、通勤時間は十分余裕を持って、慌てずに通勤をするようお願いいたします。雪の日や、地面が凍結しているときは、滑りにくい靴を履いて転倒防止対策をしましょう。

### ●交通安全講話を実施します!

昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、歩行中や自転車事故が多発していることから、安全委員会では柏警察署員を招いて令和4年2月22日(火)に交通安全講話を実施します。

詳細はゆずりは同封のチラシをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしています。



## ●安全研修(12月14日)

センター会議室において安全研修が開催されました。研修の目的は、安全意識の徹底と事故防止・撲滅と危険予知訓練(KYT)の基本を習得し実践できるようにすることです。受講者(11名)が過去に体験した事例を紹介しながらのオリエンテーション。そして「指差呼称/一人KYT」のVTRを見た後、KYTの実践的な訓練に入りました。この訓練は講義形式では無く、受講者全員で役割分担しながら行われる非常に理解しやすい訓練です。特に1枚の写真をしながらの「どんな危険が潜んでいるか?」は受講者全員が活発にディスカッションを行ない、それをリーダーが「危険予知訓練レポート」に纏めて報告、全員でKYTの重要性を再確認しました。

最後に日野会長から、「シルバー人材センターの仕事は、一人作業が多く、一人KYTの重要性を実感するケースが多いので、日頃からのKYT実践が望まれます」との話がありました。



## ●パソコン班会議(12月6日)

パソコン班会議は、右田班長の「会員の誓い」から始まって、受注関連事項と広報活動、その他の議題の審議と報告がありました。10月、11月に受注した38件について、1件毎に依頼された受注内容に対してどのように対処してお客様のご要望にお応えしたか、また、お客様はどんな情報源をもとに作業の依頼をしたかなど分析をしました。このような会議は、お客様の動向や対処方法について会員同士の情報共有ができ、今後の受注確保に非常に有効であると思います。

最近では、スマホ使用者の増加に伴う相談事も増加しています。やってみ

たいと思われる方、お困りの方がおりましたら事務局にご連絡ください。



## ●駐輪場接遇講習会(12月16日)

駐輪場就業会員対象の接遇講習会を開催しました。講習内容は、利用者対応のマナーを中心に、身だしなみ、挨拶、言葉遣い、報告・連絡・相談などチェックシートを確認しながら行われました。

クレームは、いつ起こるかわかりません。会員は真面目に作業をしても、周りの目は「さぼっているようだ」「言葉が雑で対応が悪い」などと厳しいです。

クレームが起こらない、起こさせない就業をお願いします。



## ●植木班の活動

夏から秋にかけて多忙な時期を乗り越えた「植木班」。11月24日(水)、植木班会議及び、植木班安全検定が行なわれました。

植木班会議は、参加者11名、四十宮班長の挨拶で始まり、事務局から①班員動向②安全就業③顧客からの苦情、クレームの報告④作業日程調整⑤課題などについて報告があり、活発な審議がなされました。その後、千葉大学での剪定講座の案内や受注可能件数など各班長からの報告がありました。

同日に行なわれた植木班安全検定は、一定の年齢に達した方を対象に「三脚上での作業動作」や「開眼片足立ち」など実技を通じての体力確認で、この検定に合格しないと植木作業ができなくなる大事な検定です。

班会議や安全検定でも取り上げられたのは、作業の安全確認、作業工具の取り扱いやお客様との対応など重要な事項ばかりで、40名を超える会員の責任感が求められる内容です。会員の明るい笑顔と連帯感の強さを感じました。一方、植木班は、高齢化し人材が不足するなど課題があります。植木班は「新しい仲間」を求めています。



## ●第30回SG会開催(10月18日)

成田フェアフィールドゴルフクラブにて、初参加の2名を含め17名でコンペを開催しました。

このコースでの競技は5月に続き2回目、柏から車で1時間程の距離、広大な丘陵に美しい光景が好評。天候は心地よい晴れ、弱風。皆、日頃から練習を続けていてお上手、シルバーとはとても思えない体力がある。



全員の平均で苦戦したのは、午後始めのOUT1ホール、パー4、370ヤード、緩やかな右ドッグレッグ、ティショットは最短距離狙いだと大木が進路を遮り、グリーン手前右にはバンカーあり、18ホール中2位の難易度、平均スコアは6.7でした。

優勝を獲得したのは、「仲良くおしゃべりしながら楽しくできた」と語った曾我部武会員。表彰式は幹事の配慮により広い部屋を確保、しっかり3蜜を避けて行いました。

入賞や順位賞、BG、BB、DC、NP賞の表彰と、受賞者の声を聞いて終了。今回は5月16日の予定、元気で再会することを約束し閉会しました。

寄稿 日野良英

## 福祉・家事援助サービス情報 5

センターは、福祉・家事援助サービス就業会員の拡大と事業の認知度アップを目指しています。就業状況を「ゆずりは」第118号からシリーズで情報提供しています。福祉・家事援助の仕事始める皆さんに参考にしていただければ幸いです。今回で10名の方に体験をお聞きしましたが、皆さん明るく活発、こちらが元気を頂きました。ご協力ありがとうございます。

- 内 仕事の内容
- 苦 苦労したこと
- 始 仕事を始めるのに不安だったこと
- 楽 楽しいと思うこと
- 慣 慣れるのに要した期間
- 続 就業期間、継続するためのポイント

### 体験9

- 内 ご夫婦で開業医をしているお宅に週1日、2時間お伺いしています。主に居室の清掃、風呂場・洗面所・トイレ等の水回りの清掃及び洗濯物を畳んでいます。
- 始 子供部屋の清掃時、お子様がまだお休みしていたりして、「どうしたら良いのか?」戸惑いました。奥様に相談したら「その際はやらなくていいわ」と言われホッとしました。
- 苦 お風呂場やトイレ等、水廻りの水滴を除去し、乾燥させる等の作業があり、時間内で終わらせられるか心配になりました。
- 楽 調理を専門に担当していらっしゃる方に仕事が終わった後、料理方法等いろいろと教えていただくことが出来て、楽しみです。
- 慣 この仕事を始めて4年が経過しましたが、自然に動けるようになるには、2年位かかりました。
- 続 就業先の奥様とお会いする機会は、ほとんどないのですが、ご希望に沿った対応を心がけ、共に働いている方々と笑顔で接することを心がけています。

### 体験10

- 内 ①70代のご夫婦のお宅に第2、第4月曜日の午前中2時間就業。ご主人様は車椅子をご利用でフローリングの居間や廊下は念入りに磨いています。あとは玄関、トイレなど掃除全般です。
- ②一人暮らしの70代後半男性のマンション。第1、第3月曜日と毎週木曜日の1時~4時の3時間就業。掃除全般と日用品の買い物、ゴミ出し等です。
- 始 初日、センターの方と同行でお伺いし、お会いしたらとても良い方で安心しました。
- 苦 ②のお客様との対応に慣れるまでは苦労しました。
- 楽 ①仕事の合間の奥様との会話が楽しい。
- 慣 ①は直ぐに慣れました②はもう一息かな。
- 続 2年位経ちましたが、あくまで「仕事」であるという意識を保つことです。健康に留意して継続していきたいと思っています。